

**11.5** 2025  
**WED**

時間

15:30-18:00

場所

東京学芸大学 芸術館  
学芸の森ホール

NISHIDA AN

**西田 杏**

株式会社シロ

東京 2020・パリ 2024 パラリンピック出場

講演「わたしとパラ水泳」

生まれつき障がいのあるわたしが、  
どのように生まれ育ったのか。  
片手片足での日常生活の送り方、  
スポーツとの出会い、競技者としての  
生き方を紹介する。

パネルディスカッション

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 江田 裕介 | 東京家政学院大学・教授, 和歌山大学・名誉教授    |
| 松山 直輝 | 東京学芸大学 アート・アスレチック教育センター 講師 |
| 酒井 泰葉 | 一般社団法人日本障がい者スイミング協会 代表理事   |
|       | 東京学芸大学大学院 修士課程 1 年         |

この度東京学芸大学にて、特別支援教育とパラスポーツという2つの実践世界が交わることで生まれる、新しい価値や可能性を探る講演会とパネルディスカッションを実施致します。パラアスリート、パラスポーツコーチ、特別支援教育の専門家、そして療育の実務者など、多彩な登壇者がそれぞれの視点から講演を行います。その後のパネルディスカッションでは、教育・療育・スポーツ・テクノロジーを結びつける新たな発想や気づきを参加者と共有し、未来への展望を広げていきます。さらに、来場者の皆さまにとっても、これまで触れる機会の少なかった「特別支援教育」と「パラスポーツ」の世界を知り、理解と関心の扉を開く場となることを目指しています。



主催：東京学芸大学 アート・アスレチック教育センター

お問い合わせ先：連携第一係 メール：[icb-tgu@u-gakugei.ac.jp](mailto:icb-tgu@u-gakugei.ac.jp)

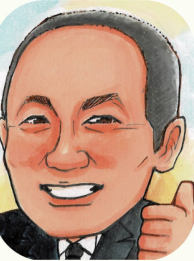
入場無料 申し込み不要（来場者多数の場合、先着順とさせていただきます。）

ふれあう世界、こえる未来  
特別支援教育とパラスポーツが出会うとき

日時 2025 年 11 月 5 日 (水) 15:30-18:00 場所 東京学芸大学 芸術館 学芸の森ホール

| 時間          | 内容                                                                                                                                           |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 15:30~15:35 | 開会挨拶：東京学芸大学 学長 國分 充<br>企画説明：アート・アスレチック教育センター センター 松山 直輝                                                                                      |
| 15:35~16:15 | 講演：西田 杏「わたしとパラ水泳」                                                                                                                            |
| 16:15~16:20 | 休憩                                                                                                                                           |
| 16:20~17:20 | パネラーによる発表<br>江田 裕介「パラスポーツとアシスティブテクノロジーの変遷」<br>松山 直輝「特別支援教育 × スポーツ科学のイノベーション：<br>肢体不自由 × 軽度知的障がい生徒によるジョギング指導の実践」<br>酒井 泰葉「障がい者水泳から見える、教育の可能性」 |
| 17:20~17:40 | パネルディスカッション                                                                                                                                  |
| 17:40~17:50 | 質疑応答・来場客からの質問等                                                                                                                               |
| 17:50~18:00 | 閉会挨拶                                                                                                                                         |

パネルディスカッション



江田 裕介 東京家政学院大学・教授 / 和歌山大学・名誉教授

パラスポーツとアシスティブテクノロジーの変遷

近年、テクノロジーの革新により障害を有する人たちの活動が拡充し、社会参加の機会が広がっている。ここではパラスポーツの歴史を振り返りながら、義肢装具の技術的な進歩による記録の目覚ましい変化や、e スポーツの発展と障害者のためのデバイス開発など、今後の展開について考察する。



松山 直輝 東京学芸大学 アート・アスレチック教育センター 講師

特別支援教育 × スポーツ科学のイノベーション

スポーツ系ウェアラブル端末（心拍センサーやメガネ型ウェアラブル端末）を教具として活用したジョギング指導を、重複障害（身体障害・知的障害）を有する特別支援学校生に対して実践。心拍数やランニングフォームをデータから確認して身体活動を行う「特別支援教育 × スポーツ科学」の掛け合わせによる新しい学びの場と、その実践的な指導方法を指導者の視点から紹介する。



酒井 泰葉 一般社団法人日本障がい者スイミング協会 代表理事 / 東京学芸大学大学院 修士課程 1 年

障がい者水泳から見える、教育の可能性

子ども自身が自らの力を発揮して私達の想像を超えた学びの転機を見せてくれる。そこに至るまでに支援員がどのように関わってきたのか、環境をデザインし、必要に応じて整えていったのか、地域との関わりも絡めて紹介する。



寄付のお願い

アート・アスレチック教育センターでは、今後の活動のために支援者のみなさまからの寄付金を受け付けております。ご寄付5千円以上を頂きましたら、本講演会に2名様分のご招待席をご用意させていただきます。詳細は当センター HP をご参照ください。